

広報さくら

❖第100号❖ 平成27年7月16日
発行:日本大学明誠高等学校後援会



主な内容

- ごあいさつ……………会 長 …… 2
- ごあいさつ……………学校長 …… 3
- 教職員紹介…………… 4～9
- 球技大会…………… 9～10
- 謝恩会を振り返って…………… 11
- 第100号記念特集…………… 12～14
- 研修会報告…………… 15
- 誠祭…………… 16～19
- 誠祭バザー・お茶処の報告…………… 20
- お知らせ・あとがき…………… 20





平成27年度後援会会長就任挨拶

会長 佐藤 智

会員の皆様には、ご健勝のことと拝察申し上げます。日頃より後援会活動につきましては、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。又、広報第100号発行おめでとう御座います。

この度、平成27年度後援会会長に就任させていただくことになりました、佐藤 智と申します。

微力では御座いますが、保護者代表として、生徒のよりよい環境作りに尽力していく所在でございますので、皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

本校の位置する上野原市は、山梨の東の玄関口として都心からも近く、学校からは日本一の富士山を望むことが出来る風光明媚なところです。学校設備も充実し、生徒達が快適に勉学できる環境が整っております。このような環境の中で、生徒達がのびのびと勉学に励みながら、クラブ活動、ボランティア活動等を経験し、人間として成長してくれる事を期待しています。また、日頃より明るく楽しい雰囲気を作ってくれる校長先生をはじめとする先生方に感謝申し上げます。

今年も学校の教育方針にのっとり、親と先生方が共に力を合わせ子供達の良き成長の為に力を尽くして行きましょう。その為にも、会員相互の意見交換を行い、共通理解のもとに進めて行かなければなりません。

会員皆様方のご協力を頂きながら、この組織の力を充分発揮出来るようにチームワークをもって後援会活動を推進して行きたいと思っております。



それでは、後援会の活動について一部ではありますがご紹介させていただきます。

・・・誠祭(学園祭)にてバザーの開催・・・

各ご家庭から送られた品物を皆様に販売して頂き、その売上金を子供達の為に役立てます。このバザーは、子供達が日頃お世話になっている地域の皆様とのコミュニケーションの場にもなっています。

・・・強歩大会への支援・・・

学校行事である強歩大会では、コース管理や生徒への声援、豚汁作りを行います。

ゴールした子供達に温かい豚汁を振る舞い、頑張りを讃えたいと思います。

・・・卒業謝恩会の開催・・・

卒業式のあとに、3年間お世話になった先生方に感謝の気持ちを伝える為謝恩会を開催いたします。高校生活の様々な思い出話やエピソードを先生方からお聞きし、改めて先生方にお礼と感謝の意を伝えたいと思います。

その他、日本大学への研修会や学校の様子を保護者の皆様にお伝えする広報誌の発行を行います。

子供の成長を肌で感じる事ができ、学園生活を垣間見る事のできる後援会活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



左から 森田 健司 一学年担当副会長
林 圭一郎 三学年担当副会長
佐藤 智 会長
長田 直昭 二学年担当副会長

ごあいさつ

学校長 奥秋 昭蔵



前嶋前校長先生が定年でご退職され、その後任として本年度校長に就任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。私は山梨県都留市で生まれ育ち、本校の理科(化学)教師として本校に奉職以来早34年が過ぎました。中学・高校・社会人とサッカー一筋で、ボールばかり蹴っていました。部活動にかかわる生徒の気持ち、生徒の部活動にかける思いには理解があると自負しております。

私が教師になった頃は、本校は約1,400名の生徒数でした。当時は元気な生徒が多くいましたが、勉強も一生懸命やっていました。特に、理系の最難関である、医学部、歯学部、薬学部へは

毎年進学していたほどです。

少子化の影響もあり、現在の生徒数は往時に及ぶべくもありませんが、この4月、新入生345名を迎えて全校生徒数995名(男子740名、女子255名)で、平成27年度がスタートしました。山梨県内の高等学校においては2番目の生徒数を誇ります。

生徒は『文武両道』を合言葉に、その若いエネルギーを、勉学・部活動にすべてぶつけ、高校生活を完全燃焼してくれるものと期待しています。

「明るく、楽しく、安全で安心な学校の確立」をモットーに、教職員一丸となって教育活動に取り組んでいます。グラウンドの人工芝化が成り、現在は体育館の耐震補強工事に移っています。9月には周囲や内部が立派になった体育館の姿が披露できます。今後も、更なる教育環境整備を進めてゆきます。

後援会、同窓会の皆様のご協力、ご理解を頂きながら、日本大学明誠高校の更なる飛躍、発展の礎(いしずえ)になることが私の使命と強く認識しております。今後とも、ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



教 員 紹 介

平成 27 年度

専 任



おくあき しょうぞう
奥秋 昭蔵 校長
担当教科 理科



みずこし ひでお
水越 日出夫 1-5
担当教科 保健体育
部 活 動 ハンドボール



みなみ たかお
南 尊雄 教頭
担当教科 理科



ひがき えいじ
檜垣 英治 1-6
担当教科 保健体育
部 活 動 ウェイトリフティング



おおもと じゅん 教務部主任
兼 芸術科主任
大桃 淳
担当教科 英語
部 活 動 ソフトテニス



あべ えいすけ
阿部 栄祐 1-7
担当教科 国語
部 活 動 文芸
空手道



やました ゆういちろう
山下 雄一郎 1学年主任
担当教科 英語
部 活 動 ソフトテニス



うめだ ゆうじ 地歴・公民科主任
1-8
梅田 祐司
担当教科 地歴公民
部 活 動 スキー



たかはし かつや 理科主任
兼 家庭科主任
1-1
高橋 勝也
担当教科 理科
部 活 動 剣道
自然科学



すがわら ゆきこ 生徒会指導部主任
1-9
菅原 由紀子
担当教科 国語
部 活 動 バドミントン



やまもと しょうへい
山本 翔平 1-2
担当教科 英語
部 活 動 女子バレーボール



かとう あきら
加藤 晃 1学年付
担当教科 数学
部 活 動 野球
音楽



やまうち わきこ
山内 和貴子 1-3
担当教科 国語
部 活 動 茶道・華道
女子バスケットボール



みずの まさみ
水野 正実 1学年付
担当教科 国語



やはた けんと
八幡 健斗 1-4
担当教科 数学
部 活 動 サッカー
体操同好会



おおもり やすかつ
大森 康勝 2学年主任
担当教科 国語
部 活 動 サッカー

教 員 紹 介

専 任



かねだ まさゆき
金田 真幸 2-1
担当教科 地歴公民
部 活 動 ラグビー



みよし たかひさ
三好 孝尚 2-9
担当教科 地歴公民
部 活 動 野球



ながしま さわ
長島 澤 国語科主任
2-2
担当教科 国語
部 活 動 書道
バドミントン



おおはた まさと
大畑 真人 情報科主任
2-10
担当教科 数学 情報
部 活 動 水泳



にしじま やすあき
西島 泰明 広報部主任
2-3
担当教科 英語
部 活 動 写真



へんみ かずや
辺見 和也 生活指導部主任
2学年付
担当教科 数学
部 活 動 空手道



くろかわ ゆうき
黒川 雄樹 2-4
担当教科 数学
部 活 動 吹奏楽
卓球



たかはし ゆみ
高橋 祐実 2学年付
担当教科 国語



わたなべ ようすけ
渡邊 陽介 2-5
担当教科 理科
部 活 動 自然科学部
硬式テニス



かねはこ まこと
金箱 信 3学年主任
担当教科 地歴公民
部 活 動 吹奏楽



さいとう おさむ
齋藤 理 2-6
担当教科 保健体育
部 活 動 男子バレーボール



あぶらの まさこ
油野 雅子 保健衛生部主任
3-1
担当教科 英語
部 活 動 写真
ダンス・チア



かとう まきこ
加藤 真紀子 2-7
担当教科 英語
部 活 動 卓球



まつざき かずひさ
松崎 一寿 数学科主任
3-2
担当教科 数学
部 活 動 硬式テニス



やたべ みつおり
谷田部 光則 2-8
担当教科 保健体育
部 活 動 ラグビー
体操同好会



ごとう さとし
後藤 聡志 3-3
担当教科 保健体育
部 活 動 サッカー



教 員 紹 介

専 任



あらい たかふみ
新井 孝文 3-4
担当教科 理科
部 活 動 男子バスケットボール



たに まみ
谷 真美
担当教科 保健体育



まつしま のぶお 図書部主任
松嶋 暢夫 3-5
担当教科 地歴公民
部 活 動 陸上競技



はしづめ あや
橋爪 彩
養護教諭



おぐち てつお 保健体育科主任
小口 哲生 3-6
担当教科 保健体育
部 活 動 野球



非 常 勤

いいだか のぞむ
飯高 望
担当教科 数学



こばやし やすかず 英語科主任
小林 泰一 3-7
担当教科 英語
部 活 動 美術



いちのせ たかひろ
一ノ瀬 貴大
担当教科 数学
部 活 動 女子バスケットボール



こいずみ こうた
小泉 宏太 3-8
担当教科 国語
部 活 動 ダンス・チア



いとう なおゆき
伊藤 直之
担当教科 国語



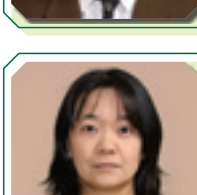
なかがわ まさもと 進路指導部主任
中川 正基 3学年付
担当教科 数学
部 活 動 囲碁将棋



いとう まさつぐ
伊東 正次
担当教科 芸術(美術)
部 活 動 美術



おおかんだ ひさし
大神田 久 3学年付
担当教科 国語



いぶき けいこ
膽吹 恵子
担当教科 家庭



みやがわ ひろこ
宮川 浩子 3学年付
担当教科 数学



かしもと あらた
榎本 新
担当教科 英語



教 員 紹 介

非 常 勤

かわな みさき
川名 美咲

担当教科 地歴公民

さとう まるく
佐藤 真瑠

担当教科 理科

かわばた えりこ
川畑 映理子

担当教科 理科

部 活 動 水泳

すずき たかひと
鈴木 貴仁

担当教科 英語

くわた ゆきと
桑田 征人

担当教科 芸術(書道)

部 活 動 書道

そえだ あつし
添田 敦

担当教科 数学

ごとう あきひと
後藤 明仁

担当教科 地歴公民

たけだ よしあき
竹田 佳昭

担当教科 地歴公民

こみね ひろよし
小峰 浩義

担当教科 国語



チェイ・コター

担当教科 英語

さいとう あい
齋藤 あい

担当教科 保健体育



ティモシー・ヤング

担当教科 英語

さいとう だいき
齋藤 大樹

担当教科 保健体育

部 活 動 剣道

どい よえる
土居 良恵流

担当教科 保健体育

部 活 動 ハンドボール

さかもと ひろし
坂本 博

担当教科 英語

なかい たかのり
中井 貴則

担当教科 英語

教 員 紹 介

非 常 勤

ながさわ けんいち
長沢 憲一

担当教科 国語

ほそだ みちこ
細田 路子

担当教科 理科

ながせ ひろき
長瀬 拓輝

担当教科 地歴公民

ほんだ たくや
本田 拓也

担当教科 理科

ながはし ともひろ
長橋 朋裕

担当教科 英語

まるやま りょうじ
丸山 亮治

担当教科 英語

なんり まさひと
南里 正人

担当教科 数学

みわ あきこ
三輪 亮子

担当教科 数学

にしこおり だいすけ
錦織 大祐

担当教科 芸術(音楽)

やまざき おさむ
山崎 理

担当教科 地歴公民

はしもと たく
橋本 拓担当教科 情報
部 活 動 スキー

レジナルド・マデス

担当教科 英語

職 員 紹 介

おおくま ともゆき
大熊 智之

事務長

ぬまこ ひろし
沼子 博

経理長

さかた ほのお
坂田 炎

特任課長

ながさか けんいち
長坂 憲一

管財担当・特任課長補佐



職 員 紹 介



みずこし
水越 ゆかり
庶務主任



いちの ゆうすけ
市野 祐輔
会計主任



たかはし かつのり
高橋 克徳
庶務担当



あらい かずお
荒井 和夫
管財担当



しまざき ゆきえ
嶋崎 由喜江
庶務・図書担当



くろだ ゆりえ
黒田 ゆり枝
会計担当



いちかわ ひろふみ
市川 博文
用務担当



そね はるお
曾根 治男
警備担当



もりかわ やすじろう
森川 保次郎
用務担当



やまぎし まゆみ
山岸 真由美
図書担当

球技大会

4月24日



球技大会

4月24日



1年男女 ドッジボール



2年男子 バレーボール



2年女子 キックベースボール



3年男子 サッカー



3年女子 バスケットボール

平成26年度卒業謝恩会を振り返って

謝恩会実行委員長 星野昭久

春の暖かさが感じられる平成27年3月1日、平成26年度日本大学明誠高等学校卒業証書授与式が挙行されました。卒業証書授与式終了後、恒例の後援会主催卒業謝恩会に臨むため、教職員、保護者はバスに分乗して会場となる京王プラザホテル八王子へ移動しました。総勢100名の出席者が待ち構える中、3学年主任の松嶋先生、各クラスの担任が入場して卒業謝恩会がスタートしました。保護者はそれぞれの思いを抱いて先生方へ感謝の気持ちを伝えるべく、歓談いたしました。しばらくして、会のメインイベントである3学年担当の先生方への記念品の贈呈が行われまし

た。壇上ではお礼の言葉を添えて、先生方に記念品と花束をお渡ししました。先生方からは、思いもよらぬエピソードを交えたご挨拶をいただいて、会は最高潮に盛り上がりました。卒業生保護者の感謝の気持ちを十分伝えることができた会ではなかったかと思います。最後になりますが、会を運営するために協力して下さった後援会役員、全ての会員の皆様に紙面をおかりしてお礼を申し上げます。ありがとうございました。



2010年以降

後援会行事や学校への協力行事中心の報告になってきました。

2010年には、創設50周年記念式典と祝賀会が行われました。このお祝いを後援会がお手伝いする形で、一緒に喜びました。



「広報さくら」第100号発行に寄せて

第14代後援会長 堂本義雄様
平成17年 藍綬褒章 授章

広報誌第100号発行おめでとうございます。

私が後援会長の頃は、東京・神奈川方面の生徒数が急激に増加し、新しい情報を持った御父母が増えた時期で、風通しを良くすべく会議後に頻繁に懇親の場を設け、先生を含め様々な事を議論したことが楽しい思い出として残っています。

第100号発刊にあたり、当時もお話しさせて頂きましたが、「学業の努力無くしてはその上そして希望する将来は無い」という言葉を生徒、御父母に贈りたいと思います。

祝 創刊

広報部より



昭和49年3月創刊以来41年
今回、第100号制作にあたり
先輩方と学校との結びつきを強
今後も200号、300号とつな

2000年代

あの先生の懐かしい顔

先生の活動を紹介する
ページがありました。



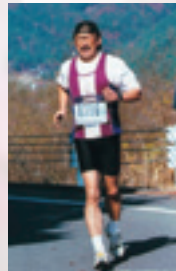
▶ オフの時には市民レースに出場していた大神田久先生



▶ 第34回宮崎国民体育大会に出場した水越日出夫先生



▶ 修学旅行で九州に向かう新幹線の中 檜垣英治先生



▶ 谷田部光則先生も
河口湖フルマラソンに出場



▶ 初めての北海道修学旅行に参加した
中川正基先生

2015年
(平成27年)

・第100号発行

2012年
(平成24年)

・7月17日発行第94号より「広報さくら」に名称変更
(学校の発行の広報誌との違いを明らかにするため)

2008年
(平成20年)

・年2回発行になる

2005年
(平成17年)

・先生紹介が定番になる

2002年
(平成14年)

・7月31日発行第468号よりA4版に変更
・先生方の活動を中心情報伝えていた

第100号記念!

間に渡り発行を続けてきた広報誌です。
過去のものに触れ歴史の重みと共に後援会の
く感じました。

がることを信じ、活動していきたいと思います。

平成27年度 広報部 部会長 星野奈美子

1980年代～90年代

部活の活躍情報満載

昭和56年度 体育クラブの活躍

昭和56年度の部活動成績を掲載し、各校の活躍を伝える。各校の成績、順位、得点などを詳しく紹介する。

▶体育クラブの成績
第21号 昭和56年7月1日発行

全国高校野球大会組み合わせ

全国高校野球大会の組み合わせ表を掲載し、各校の出場チームと対戦相手を紹介する。

▶全国高校野球大会組み合わせ
第35号 平成2年7月20日発行

野球部の大会対戦表の掲載や各部の
大会結果の掲載など、この頃の広報誌に
は部活の活躍を伝える記事が多く扱わ
れていました。サッカー部、バスケットボ
ール部、ハンドボール部などがインターハ
イに出場し、その伝統が現在も引き継が
れています。

1970年代



▶日大総長からのメッセージ



▶当時の教職員の皆様



▶創刊号の表紙

創刊に際して、元日本大学総長医学博士の鈴木勝先生
よりお祝いのメッセージをいただきました。

「広報さくら」第100号発行に寄せて

第16代後援会長 元上野原市長 奈良明彦様
平成24年 旭日中綬章 授章

「広報さくら」第100号発行おめでとう
ございます。

私も、地元の市長として、また、PTA会長
として、様々な学校行事や後援会活動にも
参画してきました。この間、明誠高等学校
の甲子園初出場をはじめ多くの感動をいた
だきました。これからも、未来に向け、明誠高等学校の更
なる発展と生徒さんたちの大いなる活躍、飛躍を期待して
おります。「応援しています!」



広報紙はたくさんの人に支えられてできています

原稿を書いてくださる皆様や写真撮影に協力して下さる生
徒・関係者の皆様はもちろん、これらのデータを誌面にレイア
ウトし、印刷して下さる印刷会社の方にも支えていただいでい
ます。第65号からは、地元の「カヤヌマ印刷」様にご協力をい
ただいています。これからも広報紙の発行に皆様方のお力を貸
していただきますよう、よろしくお願いいたします。

広報誌のあゆみ

1974年
(昭和49年)

・3月1日第1号
創刊
B5版で発行

1988年
(昭和63年)

・第30号より
カラー版に変更

1989年
(平成元年)

・年3回発行になる
・部活動の結果報告
が充実

第100号記念 オモシロページ特集

表紙あれこれ

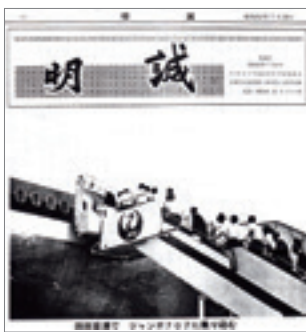


▶第58号 平成11年3月1日発行



▶第60号 平成11年12月18日発行

表紙に短歌を掲載



当時のコメント

「羽田空港でジャンボ707
に乗りこむ」

※当時高校生が修学旅行に飛行機を使用する事は考えられない事であった。～九州一周～

▶第10号 昭和52年7月20日発行
修学旅行が大ニュース

▶第17号 昭和54年7月20日発行

以前はプールがありました！



▶第15号 昭和54年3月1日発行

昭和53年に『53』の人文字



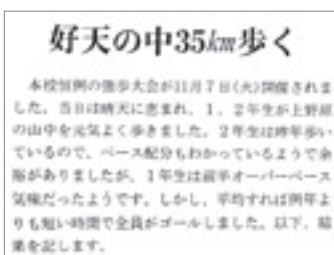
▶第38号 平成3年10月1日発行



▶第5号 昭和51年3月1日発行

部活の活躍を紹介

本文あれこれ



▶第29号 昭和62年12月24日発行

強歩大会コースの変遷
～だいぶ短くなりました～
35km→18km(女子13km)→14km

▶第64号 平成13年3月1日発行



▶第97号 平成26年3月1日発行



▶号外 昭和55年5月1日発行

日大明誠
35周年

明誠高校35周年を記念した第49号には、開校当時の上野原の町の様子や保護者手作りの食べあるきマップの掲載など力のこもった記事が満載でした。



開校式当日の朝の表情



(35周年) 現在の表情

開校当時と平成7年の様子



保護者手作り！上野原食べあるきマップ



研修会報告

研修部部長 林 弘

今年の後援会研修部会は、平成27年6月6日(土)に日本大学生産工学部を見学に行く事になりました。

当日朝は小雨が降り6月としてはまだ肌寒い中、大型バス2台を貸切り日大明誠発の1号車と八王子駅南口発の2号車が石川パーキングに於いて合流し、そこで学年別に分かれて目的地に向けて出発しました。

奥秋校長先生をはじめ佐藤智後援会会長、教職員の方々、後援会役員など、総勢63名での研修になりました。

各出発地発車後、渋滞等もなく順調に進み約3時間後日本大学生産工学部津田沼校舎に到着し、100周年記念館前階段にて記念撮影を行いました。その後39号館6階スプリングホールに於いて、奥秋明誠高校校長先生挨拶、落合生産工学部長先生より学部紹介、特色説明、小井戸教授より入試についての説明を受けました。

落合学部長先生の説明では、就職率が高く、また離職率が低い、担任制の導入、学科の中でも更に細かいコース設定を行っているなど、とても興味深いお話をいただきました。

小井戸教授の入試説明では、いただいた入試ガイドに沿ってより詳しい説明をうけ、とても参考になるお話が伺えました。

全体会の後、2グループに分かれ施設見学を行いました。

一つは、未来工房にて全員サンドブラストガラス加工体験。これは、工房の方々がガラスのコップに一つずつ模様を表すテープを貼り準備をいただいたおかげで、全員楽しく、スムーズに体験を受けることができました。

また、希望者は陶芸体験をしたり、3Dプリンターの見学をしたりと、とても興味のある体験ができました。

もう一つは、40号館創生デザイン演習室などの施設を各研究室の先生方から案内していただき、実際学生の方の学ぶ姿も見ることが出来ました。

この素晴らしい環境の中で学ぶ事が出来る学生は、とても恵まれていると思います。是非、日大明誠の生徒達にも各学部進学を目標に勉強に励んでいただきたいと強く思いました。

当日は、明誠高校出身の3年生西間庭さんにも施設見学に同行していただき、大変な事・楽しい事など、生の声を聞くことができ、少し学部が身近に感じられたひと時でした。

=====

二つの見学の後、普段学生が食しているランチを生産工学部のご配慮によりバイキング方式によりいただきました。

少し予定より時間がかかり全ての施設を見ることはできませんでしたが、とても有意義な研修となりました、あっという間に帰る時間となりました。

夕方、八王子駅で解散し反省会をかねた意見交換会を行いました。

校長先生をはじめ色々な方々から、貴重なご意見や反省をいただきました。

このご意見や反省をもとに来年はさらに良い研修にしていきたいと思います。

ありがとうございました。



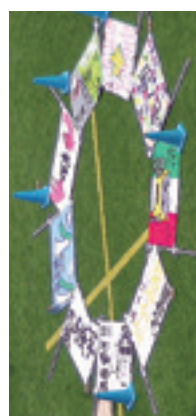
誠 祭

6月20日・21日



誠 祭

6月20日・21日



誠 祭

6月20日・21日



誠 祭

6月20日・21日





誠祭バザー・お茶処の報告

バザー実行委員長 長田直昭

後援会主催事業のバザーを、本年度も6月20日、21日開催の誠祭にて行いました。

当日の天候を気かけながら、19日の前日準備を迎えました。最近、どこのバザーも品集めや、質の低下で苦勞していると聞きます。時代の流れの中で仕方の無い事なのかもしれませんが、明誠高校においては皆様の協力のおかげで例年並みの品数を確保することが出来ました。

いよいよ本番を迎えるにあたり、心配していた天候もどうか恵まれ、清々しい2日間を過ごす事が出来ました。

毎年恒例のバザー事業も、生徒達が日頃お世話になっている地元の方々に浸透してきました。毎年楽しみに来られるお年寄りの姿、掘り出し物を見つけた時の嬉しそうな笑顔を見た時、バザー事業の意味合いを感じる事が出来ました。お茶処も天候に恵ま

れた事もあり沢山の方々に利用頂きました。又、多くの生徒達にも利用してもらい、笑顔が絶えない楽しい会場となりました。

あわただしい2日間でありましたが、地域の皆様方とのコミュニケーションも図ることができ、何よりも、誠祭に係わった皆様方との絆が深まった事が最大の成果だったと思います。皆様ありがとうございました。

また、1か月という短期間で商品の提供や準備から販売までご協力いただいた関係各位に感謝申し上げます。また野球部・サッカー部の保護者会、後援会OBの皆様方、教職員の皆様方からもたくさんの商品をご提供頂きました。重ねてお礼申し上げます。

これからも子供の成長を肌で感じる事ができ、学園生活を垣間見る事のできる後援会活動にご理解、ご協力を宜しくお願い致します。



後援会からのお知らせ

謝恩会のお知らせ

毎年、卒業式終了後に後援会主催の謝恩会を開催しております。

お世話になった教職員の方々に感謝の気持ちを伝える場となっておりますので、3年生保護者の皆さま方、ぜひご参加下さい。

お知らせ

後援会ホームページ(学校HP内)が今年度リニューアルいたしました。

随時更新を行っていきますので、学校ホームページ共々よろしくお願い致します。

～あとかき～

記念すべき第100号に携われる喜びとプレッシャーを感じながら部員一同、協力して作成しました。後援会会員の皆さまに学校行事の様子や後援会活動をわかりやすく伝えられるよう今後も努力してまいります。どうぞ宜しくお願い致します。(広報部員一同)

